環境方針・マネジメント

朝日工業社は、地球環境保護の精神および企業理念の精神に則って、環境方針を定め、環境管理組織の構築と 環境法令の順守に努めるとともに、事業活動を通して省資源・省エネルギー化を進め、持続可能な社会の実現に 貢献しています。

環境方針

私たちは、事業活動を進めるに当たり、順法精神に則って、地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会 の実現を目指し、全てのプロセスにおいて以下の項目を公約とする。

- 効果的な利用によるエネルギー使用量の削減 一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理と削減
- 地球に優しい環境配慮設計の推進と提案
- フロンガスの漏洩防止と適正処理

事業活動と環境の関わり

当社は、環境方針に基づき、当社の事業領域である設備工事事業と機器製造販売事業のすべての事業活動のプロセス において、環境への配慮と負荷軽減に努めています。

● お客さまのニーズに応える

環境ソリューション提案

環境と人にやさしい提案

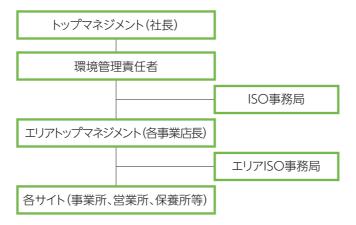
- 省エネルギー、省資源を 実現する設計
 - ライフサイクルでの環境配慮設計
- 最先端の省エネ技術を 取り入れたメンテナンス提案
 - ■最適チューニングによる 省エネ管理
- 省エネ・高効率品採用の推進
 - グリーン購入への取り組み
- **《**朝日工業社》
- 製造設備と工程の最適管理に よるエネルギー使用量の削減
- 製造技術改善、品質管理を 通じた廃棄物の削減

- 廃棄物を発生させない プレハブ工法
 - 地域への環境配慮
 - 地球と人への環境性能向上を 目指した計画提案
 - 廃棄物の適正管理と3R (Reduce,Reuse,Recycle)の推進
 - 最新技術による脱炭素・ 省エネルギーシステムの開発
- 再生可能エネルギーの 利用技術の開発

環境マネジメントシステム(EMS)の構築

造

当社では、事業活動のあらゆる局面における環境への 負荷を軽減するために、国際規格ISO14001を順守した EMSを全社的に構築・運用し、継続的な環境活動に取り 組んでいます。EMSの体制としては、社長をトップマネジ メントとし、本社に環境管理責任者とISO事務局、各事業 店にエリアトップマネジメントとエリアISO事務局を配置 しており、全社一丸となってEMSを推進しています。また、 当社の事業活動におけるリスクと機会を抽出・把握した 上で、環境方針と整合した環境目的・目標を毎年設定し、 その達成に努めています。



エネルギー使用量の管理と低減

効果的な利用によるエネルギー使用量の削減を目指して、 省エネ法で定められた範囲の原油換算値2%低減を全社 的な年度目標にしています。毎年年度末のトップマネジメント レビューにおいてその目標値を見直した上で、事業所や 技術研究所の11に分けたエリア毎に目標数値(原油換算値) を細分化し、営業所や当社保有の保養所も含めた41サイト のエネルギー使用量を四半期毎に原油換算して、全社的 な統合管理しています。また、使用量の管理だけではなく、 化石燃料の依存度が少ない電力の購入など、エネルギー シフトを継続的に行い、地球環境への負荷軽減に取り組んで います。



エネルギー使用量の内訳(2016年度~2020年度)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電気	使用量(千kWh)	4,980	5,337	5,486	5,935	5,448
	熱量(GJ)	49,651	53,209	53,592	57,939	54,312
灯油	使用量(k l)	10	9	8	8	7
	熱量(GJ)	360	330	283	279	242
液化天然ガス	使用量(t)	14	14	13	12	12
	熱量(GJ)	613	609	663	671	628
都市ガス	使用量(千㎡)	26	35	25	23	23
	熱量(GJ)	1,192	1,587	1,145	1,021	1,028

事業店ごとの主な取り組み

全国の事業店では、環境目的・目標の達成に向けて、環境負荷の低減やエネルギー使用の合理化につながる取り組みを 推進しています。

太陽光発電の設置

大阪支社では、太陽光発電システム を設置し、電力会社の電力系統に接続 して使用しています。



大阪支社駐車場屋根に設置

工場照明のLED化

機器事業部の工場棟における天井 照明の水銀灯のLED化を進めて います。



T場LFD化(施丁中)

複写機の更新

すべての事業店において、オフィス プリンタをトナー方式のレーザー プリンタから熱を発生しないインク ジェットプリンタへの切り替えを順 次行っています。